

# 米原高校地学部活動

## 地学部とは？

地質、岩石、火山、地震、海洋、湖水、古環境、古生物、大気、気象、天文などを対象にして、これらをさまざまな方法で楽しんだり、研究したりする部活動です。地学室にある様々な機器や試料、蔵書などに自由に触ることができます。定期的に勉強会や、進捗報告会をしているほか、毎月かならず天体観測会を行っています。

日々の活動はゆるく楽しく、フィールドワークや実験、発表準備はできる限りのことを精魂尽き果てるまで真剣に。オンとオフをしっかりと切り替えて、夏は忙しく、冬はゆったりと活動しています。



## 【活動場所】

地学教室(理数棟3階)、屋上天文台、山や川などの屋外

## 【活動日時】

平日:毎日(木以外:18:00 まで) / 休日:土日どちらかの AM



本校地学部は、県内大会では、1988 年度以降、毎年必ず4位以上の成績、または全国総文への出場権を獲得しており、令和7年度も、香川で開催される全国総文への出場が決定しています。

## 最近の研究テーマ(すべて全国総文進出)

- 2021 姉川源流部の環境の変遷をたどる (東京大会)
- 2022 古琵琶湖層群蒲生層の時代の周辺環境の復元 (鹿児島大会)
- 2023 地質が河川の水質に与える影響 (岐阜大会)
- 2024 地質が土壌と植生に与える影響 (香川大会進出決定)



日本学生科学賞には、1987 年から中央出品を行っています(県内予選審査あり)。

以下のようなテーマで最終審査での入選を果たしてきました。

- 1990 大気汚染と酸性雨 (入選1等)
- 2007 太陽活動極小期における太陽の活動について (入選1等)
- 2013 太陽活動と紫外線強度の関係 (入選2等)
- 2015 最終氷期の古環境復元 (全日本科学教育振興委員会賞)
- 2017 伊吹霊仙山系の里山の変遷 (入選1等)
- 2019 最終氷期以降の小泉湖の変遷をたどる (環境大臣賞)
- 2024 これまでの取り組みに対して学校賞を受賞



地学研究がしたいみなさんも、ゆるっと星を見ていたいみなさんも、どちらもお待ちしております！